

長野県 2026/06/09(火)

(第3種郵便物認可)



宮沢さんの講演に耳を傾ける経営者ら―飯田市座光寺のエス・バードで

「脱炭素製造業経営の一部に」

市がセミナー 関係者が取り組み講演

飯田

脱炭素経営

を通じた経済

と環境の好循環の実現に向け、飯田市は8日、「つづくるB。脱炭素経営セミナー」を同市座光寺の産業振興拠点「エス・バード」で開いた。関係者による講演があり、約20人の経営者が耳を傾けた。

気候変動対策の視点を持つ

脱炭素経営は、経営リスク

の低減や成長のチャンス

であり各企業が取り組むべき

課題だとして、市や飯田

商工会議所などは後押しし

ている。

講演した製造業のキンポ

ーメルテック（同市三日市

場）代表の宮沢正宏さん

（46）は「材料費や電力の高

騰で課題山積みの中、さら

に脱炭素経営をと言われて

も、正直負担しかない」と

吐露。一方で、今後も電力

価格の上昇が予測されるこ

とから「コストや競争力、

リスク管理の観点から、経

営判断の文脈で脱炭素を捉

え直す必要がある。環境活

動というより、これからの

製造業経営の一部になって

いく」との考えを明かした。

市内の中小企業を対象にCO₂排出量の可視化や削減に役立つプラットフォームを提供するe-Idash（東京都）の担当者が、脱炭素経営を巡る社会状況や取り組みの必要性、削減目標設定について説明した。

市担当者は「脱炭素経営とは何をするのか分からないというのが、今の地域の現状だと思う。一緒に考えて考え、これからの新しい取り組みを共にしていきたい」と話した。

（池山航一郎）